

市議会だより

正副議長就任のご挨拶



野口達也議長



筒井正興副議長

市民の皆様には、日頃から市政に対し、深いご理解と温かいご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

このたび、私どもは議員多数のご推挙により第54代議長、第60代副議長に就任いたしました。

現在、長崎市は、将来にわたって活力があり、暮らしやすいまちづくりに向けた重要な時期を迎えております。

市民の皆様の期待と信頼に応えるため、議会による市政のチェック機能を最大限に発揮し、諸課題の解決に取り組むとともに、公平公正で円滑な議会運営に努め、長崎市の発展と市民福祉の向上のため全力を尽くしてまいります。

どうか、今後とも、市民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主な掲載内容

- 旧長崎市公会堂敷地への市庁舎移転などが決定、11月定例会の概要…………… 2P
- 一般質問…………… 3P
- 平成27年度決算の議決結果と常任委員会における審査の主な内容…………… 6P
- 11月定例会の議決結果と常任委員会における審査の主な内容…………… 8P
- 平成28年の長崎市議会…………… 10P
- 議長・副議長選挙、議会の動き、陳情、2月定例会の予定など…………… 12P

旧長崎市公会堂敷地への市庁舎移転などが決定〈大型施設整備関連議案〉

現在、長崎市では、土地区画整理事業など、長崎駅周辺の再整備が進められているほか、老朽化や耐震性の不足に伴う市庁舎の建て替え、交流人口の拡大や地域経済活性化を図るための交流拠点施設の整備などの大型事業が計画されています。これらの大型事業については、これまでもさまざまな議論を行ってきましたが、11月定例会では、新市庁舎や交流拠点施設などに関連する議案の審査を行いました。

◆旧長崎市公会堂を解体へ

環境経済委員会において、第183号議案「長崎市の旧公会堂の解体中止と再使用に関する住民投票条例について」の審査を行いました。

この議案は、長崎市の有権者の署名とともに、条例制定の請求書が市長に提出されたものです。これに対し、市長からは、条例の制定に反対する考えが示されるとともに、新たな文化施設については、現市庁舎跡地での建設と比較し、早期の完成が見込めることなどを理由として、現在、今年度内の整備方針策定に向けて県と協議を進めているとの説明がありました。

委員会では、請求代表者の意見陳述や参考人に対し質疑などを行った後に審査を行い、採決の結果、賛成少数で

原案を否決すべきものと決定し、本会議でも、記名投票による採決の結果、賛成少数で原案を否決しました。

また、第180号議案「工事の請負契約の締結について（旧長崎市公会堂解体工事1）」は全会一致で原案を可決すべきものと決定し、本会議では、賛成多数で原案を可決しました。

◆新市庁舎の位置が決定

総務委員会において、第191号議案「長崎市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」の審査を行いました。

この議案は、市役所を建て替えるに当たり、市民の利便性などを勘案し、その位置を旧長崎市公会堂及び公会堂前公園敷地に変更しようとするもので、採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきものと決定し、本会議でも、賛成多数で原案を可決しました。

また、第184号議案「平成28年度長崎市一般会計補正予算（第5号）」では、新市庁舎建設に係る設計、調査等を行うための継続費が計上されました。

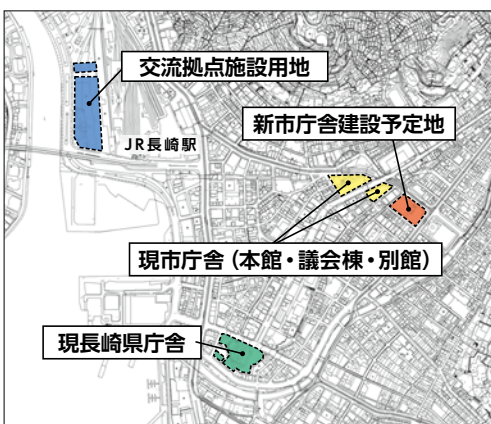
その結果、具体的な設計を行う実施設計の費用は、支所・行政センターの見直しについて市民や議会に十分な理解を得ていない現時点では認められないとの理由で、継続費のうち、実施設計

計の費用を減額する修正案が提出され、採決の結果、賛成多数で原案を修正可決すべきものと決定し、本会議でも、賛成多数で原案を修正可決しました。

◆交流拠点施設の受注者選定審査会を設置へ

環境経済委員会において、第137号議案「平成28年度長崎市一般会計補正予算（第4号）」の審査を行いました。

この議案は、JR長崎駅西側に整備を検討している交流拠点施設の事業者の選定を適切に行うため、専門家による審査会を設置するための費用などを計上しようとするもので、審査を行った結果、全会一致で原案を可決すべきものと決定し、本会議では、賛成多数で原案を可決しました。



▲大型施設整備に関する位置関係

11月定例会の概要

平成28年11月定例会を、11月25日から12月14日まで開催しました。

定例会初日、BSL14施設整備について市長から行政報告などが行われた後、決算議案の審査結果について、各委員長から報告があり、採決を行いました（詳細はP6・7）。また、辞職に伴う正副議長選挙を行い（詳細はP12）、その後、市長から、上程された議案の提案理由の説明がなされました。

11月25日・28日には、環境経済委員会第183号議案の審査を行い、11月30日の本会議において採決を行いました（詳細は上記）。

11月30日から12月5日までは、市政一般質問を行い、16名が登壇しました（詳細はP3～6）。

12月6日からは各常任委員会において付託された議案の審査や所管事項調査を行いました（詳細はP8・9）。

12月12日には、長崎駅周辺再整備、観光客受入対策、定住人口対策の3つの特別委員会を開催し、これまでの調査を踏まえた総括質疑を行いました。

定例会最終日の12月14日は、各常任委員会の委員長から議案の審査報告を行い、採決を行いました。11月定例会では、原案可決54件、修正可決3件、否決2件、認定15件の合計74議案を議決しました。

一般質問

市民クラブ

BSL-4施設設置容認の危険性

問 国の関与があれば、施設に隣接する住民の命を守ることができると考えているのか。

答 施設の設置には、安全性の確保と市民の理解が前提であり、そのためには、国の関与が必要不可欠である。

長崎市としても、感染症対策の当事者である国の関与を強く求めてきたが、それが文書で示されたことは、市民の安全・安心のための重要な要素だと考えている。

一方、事業主体である長崎大学では、運用中の海外施設を参考に、具体的な安全対策の議論を行うとともに、大学の取り組みを厳しくチェックする仕組みも構築することとなっている。

長崎市としては、施設が安全に運営され、地域との共生を図りつつ、その研究成果が最大となるよう、引き続き大学と国に最大限の努力を求めていく。

BSL-4施設：エボラ出血熱の原因ウイルスなど、危険度の高い病原体を取り扱うことができる実験施設

急増するクルーズ客船の受け入れ態勢

問 新たな観光ルートの開発による外貨を稼ぐ仕組みづくりにおいて、長崎県と連携した受け入れ態勢について伺いたい。

答 新たな観光ルートの開発と提案については、長崎県や九州運輸局と連携しながら取り組んでいる。

その結果、中国クルーズのツアーについては、浜町や中華街、東山手・南手を散策する良質なフリープランが少しずつ増えてきている。また、欧米クルーズにおいても、まちなかの散策だけでなく、軍艦島を訪れる観光客が増えてきている。

今後とも、長崎県を初め関係団体との連携を密にし、長崎の持つ多様な素材を活用して魅力あるルート提案を行うことにより、市内滞在時間の延長を促し、地域消費の拡大推進に努めたい。



▲長崎港へのクルーズ客船入港数は今年も増加の見込み

全国学力・学習状況調査の結果と課題

問 公表された今年度の調査結果を分析した内容と、その結果を受けての今後の学力向上のための教育方針について伺いたい。

答 長崎市の結果については、これまで全国平均を若干下回っていたが、年々その差は縮まり、今年度は全国平均並みとなった。これは、長崎市独自の学力調査により学力の実態把握を行うとともに、小学校低学年からのきめ細やかな学習支援や、ICTを活用した授業などに取り組んだ成果が表れたものにとらえている。

しかし、基礎的な学習内容の定着に課題があるため、基礎基本の学習プリントや過去の学力調査の問題を授業などに活用するよう教師に働きかけるとともに、地域の協力を得ながら放課後や夏休みなどの学習を支援する長崎寺子屋事業を推進していきたい。

また、学力向上のためには、基本的な生活習慣の定着も必要であり、これまで以上に学校と家庭の連携を図っていききたい。

2つの世界遺産の活用策

問 グラバー園からの眺望の確保のため樹木の剪定を行い、案内板を設置するべきではないか。また、県外に流出

した潜伏キリシタン関連資料の里帰りが急務と考えるが、その見解を伺いたい。

答 グラバー園内の樹木については、歴史的な風致に調和するよう十分配慮しながら、適切な管理を行っていききたい。また、案内板については、旧三菱第2ドックハウス内に写真付きの解説パネルなどを設置し、2階のテラスから望むことができる産業革命遺産の構成資産の位置関係を来訪者が理解できるようにしたい。

潜伏キリシタン関連資料の里帰りにについては、東京国立博物館にその所蔵する資料の返還について相談したところ、移管は困難との見解が示された。しかし、長崎への里帰りは世界遺産登録の機運を高めるものと認識しているため、今後も可能性を探っていききたい。



▲2階のテラスから多くの構成資産を望むことができる旧三菱第2ドックハウス（グラバー園内）

明政クラブ

長崎新幹線のフル規格への展望

問 全線フル規格化を求めていくべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

答 九州新幹線西九州ルートについては、博多ー武雄温泉間は在来線を活用し、武雄温泉ー長崎間はフル規格の新幹線施設を整備してフリーゲージトレインを導入する計画となっている。

しかし、現在開発中のフリーゲージトレインは試験中の不具合による開発遅延のため、平成34年度の開業時に必要な車両数がそろわないことになった。そこで、現在は武雄温泉駅で在来線と新幹線を乗りかえるリレー方式により暫定開業する計画となっている。

長崎市としては、全線フル規格になることが最も望ましいと考えるが、当面は長崎県や沿線市と連携し、関西圏への直接乗り入れという最終的な西九州ルートのある方向と、そこに至る道筋を早急に示してもらおうよう引き続き国に対し働きかけしていきたい。

きかけていきたい。



▲開発中のフリーゲージトレイン

行政サテライト機能の再編成

問 なぜ急に平成29年7月から実施することになったのか。また、行政センターについては、名称を変えず、技術職員を配置できないか伺いたい。

答 実施時期については検討に多くの時間を要し、予定より遅れており、できるだけ早く新たな体制をつくる必要があるため、平成29年7月からの実施を予定している。

また、支所及び行政センターの名称については全て同じく「(仮称)地域センター」としたい。技術職員については、市内4カ所に専門職員の拠点として設置する「(仮称)総合事務所」にチームで配置することで、従来の行政センターでは設計が不要な130万円以下の修繕しか対応できなかったものが、設計ができ、5千万円以下の工事にまで対応できるようになる。

「(仮称)総合事務所」が仕事の決定権や予算を持つて身近な場所に対応することで、地域の困りごとを地域の実態に即して、迅速に解決できるものと考えている。

イノシシによる被害防止補助金の手続きの迅速化

問 農家が被害防止用ワイヤーメッシュ

工柵を購入する際に利用できる補助制度は、事前着工が認められていないが、すぐに設置しなければ効果が得られないため、購入時の領収書で仮申請をすることができないか。

答 長崎市鳥獣被害防止対策事業補助金は、農業経営者や家庭菜園を営む個人などが購入する侵入防止資材費の2分の1を補助する制度である。

要綱に基づき、書類や現地調査による審査を行い、交付決定後に資材を購入・設置していただく流れとなっております。事後申請は認めていないが、早急な対応は必要と考えるため、適正な事業執行に努めながらも、市民に寄り添った事業となるよう、見直しも含め研究していきたい。

神浦4号導水トンネル補修工事の事故

問 事故の原因は何か。また、工事の特殊性についての認識と、「とび・土工・コンクリート工事」という工種で入札を行った理由について伺いたい。

答 原因については警察などが検証中だが、導水トンネル内で発電機を稼働させたことによる一酸化炭素中毒や酸素欠乏症の可能性が高いと考えている。

本工事は、導水トンネル内で原水を流しながら施工するため、特殊な薬液を使用する工事であるが、一般的な機械による作業であり、元請は特別な資

公明党

海洋再生エネルギーの取り組み

問 海洋再生エネルギー分野についての長崎市の取り組み状況を伺いたい。

答 長崎市の基幹産業である造船・造船産業を取り巻く環境は、アジア諸国の競争力の向上などにより、非常に厳しいものとなっている。

このような中、これまで培ってきた造船・造船分野の産業・技術の集積を生かすことができる海洋再生エネルギー関連産業への進出は、地場経済の活性化に大きく貢献するものと考えられる。

長崎市としては、海洋再生エネルギー分野の産業集積を図るため、企業への側面的な支援として、昨年度より国家プロジェクトへの申請に向けた事業

の可能性調査や、電気工事士や潜水士等の資格取得など、人材育成について支援を行っている。今後とも、地場産業の新分野への進出の支援を行い、地域の経済活性化に努めたい。

小島養生所跡

問 国の文化財登録を目指す方針について見解を伺いたい。また、展示方法について、一部を露出した展示を視野に入れるべきだと考えるが、その見解を伺いたい。

答 小島養生所は、我が国における西洋医学発祥の地であることから、長崎市にとっても貴重な財産であり、市民の皆様にもわかりやすくお伝えする必要があると考えている。

国の文化財登録については、発掘調査の結果をもとに、文化財としての価値や登録の可能性について、専門家の意見を聞いた上で方針を決定したい。

また、展示方法についても、発掘調査の結果をもとに、専門家の評価を踏まえた上で、

議員ご提案の展示方法も含め、どのような保存・公開の方法が最適なかを判断したい。



▲小島養生所の建物基礎

発達障害児への支援

問 発達障害児の早期療育につなげるために、5歳児健康診査の実施が必要ではないか。

答 長崎市では、1歳6か月児及び3歳児健康診査や発達健康診査を実施し、継続して発達の状況を把握するとともに、発達障害の症状が集団生活の中で把握しやすいことから、幼稚園や保育所などへの巡回相談を実施し、専門医による診断や療育につなげている。

5歳児健康診査の実施は、発達障害の早期発見のために有効であると認識しているが、5歳児のほとんどが通っている幼稚園や保育所が、発達障害児を早期発見する場として適していると考えている。

今後、健康診査体制と巡回相談を充実させていくことで、発達障害児を早期に発見し、健全な育成を図りたい。

創生自民

あぐりの丘の「花ごみまき運動」の実施

問 年中、花を楽しめる施設として多くの市民に来園してもらうため、さまざまな種類の花木を植えてはどうか。また、園内の除草や植栽を式見地区の老人クラブなどに委託してはどうか。

答 あぐりの丘には、春は菜の花やシバザクラ、秋はコスモスなど、花を楽しみに多くの市民が来園している。また、ばら園やばらハウスでは1年を通して花を楽しんでいただいている。

一方、あぐりの丘は、土壌がやせていることや霧や強風の影響により樹木の生育に厳しい環境である。そのため、樹種の選定には慎重に対応する必要があるが、引き続き季節の花々による集客力のある施設づくりに努めていきたい。

なお、今後は指定管理者制度の導入を予定しており、どのような形で地域の皆様に協力していただけるか検討していきたい。



▲あぐりの丘の菜の花は春が見ごろ

入札制度のあり方

問 予定価格の事前公表は、建設業者

の技術力・経営力による真の競争を損ねることとなっているのではないかと懸念しているのではないかと。

答 長崎市では、入札参加時に工事費内訳書の提出を義務づけ、適正な見積もり確認を行っており、不正防止の観点から事前公表は継続していきたい。

建設業者の真の技術力・経営力が反映されるような入札方式については、価格と品質を総合的に評価する総合評価落札方式や、工事成績を参加条件とする制限付一般競争入札の活用のほか、試行中の市内を2地域に区分した入札方法など、さまざまな発注方法の検討を行いながら、建設業者の育成に寄与するような入札制度の改善に努めたい。

日本共産党

公立保育所の民間移譲に係る選定審査会のあり方

問 香焼保育所の民間移譲に伴う法人選定審査会において、会長が辞任することとなった経緯と、委員の選定に保護者の要望が聞き入れられなかった理由を伺いたい。

答 辞任の経緯は、同審査会の会長が、応募法人の評議員を応募前に辞任していたものの、平成28年9月の市議会教育厚生委員会において、公平公正な審査の観点から疑義があるとの指摘を受け、本人に伝えたところ、辞任願が提

出され、これを受理したものである。
また、同審査会の委員の選定については、さまざまな視点で多方面からの意見をいただき、議論を深めていただくため、委員数の10名という制約の中で、全体的なバランスを考慮して委嘱したもので、保護者の要望が一部採り入れられなかった点については、ご理解いただきたい。

合併町への光ケーブルの敷設

問 現在、伊王島地区や神浦地区などの合併町の一部で光ケーブルが利用できないが、格差解消のため、事業者に敷設を申し入れる考えはないか。

答 インターネットの利用は、将来的には、民間の競争による新たなサービスの提供も考えられるため、光ケーブルについても、民間の事業者による敷設が望まれる。長崎市としてもこれまで、民間での整備が進むよう事業者に対する財政支援措置などについて、県や国に要望を行ってきた。

事業者を確認したところ、現時点においては、採算面から敷設が厳しい地



区への新たな延伸の予定はないという状況だが、今後とも引き続き、民間での整備が進むよう県や国に対し要望を行っていく。

チーム2020

中長期財政見通しの再検討

問 平成26年度に長崎市が示した中長期財政見通しは、国の成長戦略が功を奏し経済が大きく成長することを前提としている。しかし、長崎市が中期財政見通しを下方修正するならば、中長期財政見通しも見直し、その結果次第では、政策も臨機応変に見直すべきではないか。

答 国の経済再生計画に基づき試算した20年間を期間とする中長期財政見通しでは、名目GDP成長率を国の成長率の4分の1と見込むなど、長崎市の状況を踏まえて試算している。

長期にわたる将来の経済状況は、前提となる社会情勢などの変化を見込むことが困難である。そのため、5年を期間とする中期財政見通しに、毎年度、時点修正を行い、より現実に即した財政状況の試算を公表している。

今後、社会経済情勢の変化や国の制度などの情報収集を行い、将来の負担が財政に与える影響を見極め、適切な財政運営に努めていきたい。

平成27年度決算の議決結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第104号	平成27年度長崎市水道事業会計決算	建設水道	認定
第105号	平成27年度長崎市下水道事業会計決算	〃	〃
第124号	平成27年度長崎市一般会計歳入歳出決算	所管の各常任委員会	〃
第125号	平成27年度長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算	環境経済	〃
第126号	平成27年度長崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第127号	平成27年度長崎市土地取得特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第128号	平成27年度長崎市中央卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	環境経済	〃
第129号	平成27年度長崎市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第130号	平成27年度長崎市財産区特別会計歳入歳出決算	総務	〃
第131号	平成27年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第132号	平成27年度長崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第133号	平成27年度長崎市生活排水事業特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第134号	平成27年度長崎市診療所事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第135号	平成27年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第136号	平成27年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計歳入歳出決算	〃	〃

平成27年度決算の常任委員会における審査の主な内容

一般会計・特別会計などの各会計決算について、議会は予算目的に沿って適切に執行されたかどうかを毎年度、審査します。本年度は、教育厚生（※）、環境経済、建設水道委員会が10月26日、27日、総務委員会が11月2日、4日に決算審査を行いました。

総務委員会

総務費において、合併地域全体の振興に向けた今後の計画、自治会加入率低下の要因と加入促進に向けた取り組み状況などについて慎重に審査しました。

次に、消防費において、消防団員の退職報奨金などを引き上げる考えの有無、自主防災組織の結成率と結成促進に向けた方策、防災ラジオの配付状況と防災行政無線の代替として活用する考えについて慎重に審査しました。

委員会では、窓口業務に携わる職員を減らすことは、市民サービスの低下につながるから認められないことなどを主な論拠とする反対意見が出された一方、自治会加入促進に向けて抜本的な施策を講じてほしい、市税等が不納欠損とならないよう未収金対策にしっかりと取り組んでほしい、職員研修に多額の費用をかけているにもかかわらず不祥事や事務処理上のミスが相次いでいることから、研修内容の見直しや市の職員としての自覚をしっかりと持つことで再発防止を徹底し市民の信頼回復に努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

教育厚生委員会

総務費において、被爆70周年記念事業の検証と不用額の発生理由について慎重に審査しました。

次に、民生費において、松山地区に暫定的に開設している子ども広場の今後のあり方、生活困窮者自立支援事業の相談件数と事業をより周知・研究していく考え、原爆被爆者健康管理費で不用額が生じていることに伴い、国保や介護への影響を追跡調査する考えなどについて慎重に審査しました。

次に、教育費において、各種団体への負担金・補助金について、繰越金の有無を踏まえた制度のあり方、特別支援教育充実費の成果指標の妥当性について慎重に審査しました。

委員会では、科学館や図書館、市民病院は、市の直営で運営すべきであることなどの反対意見が出された一方、松山地区の児童館の整備を急いでほしい、生活困窮者自立支援事業における相談件数の増に努めてほしい、児童相談所の機能を整備し、虐待や貧困に悩む子どもたちを救ってほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

環境経済委員会

総務費において、ブリックホールの各種改修に関連し、利用者からの要望等の認識やその集約方法について慎重に審査しました。

次に、農林水産業費において、学校給食における地元農産物使用比率の把握の有無や、規格外の農産物使用の検討状況について慎重に審査しました。

また、商工費において、クルーズ船の乗客による観光消費額や、リピーター客を確保するために帆船まつりの規模を拡大するなど魅力あるイベントとする考えなどについて慎重に審査しました。

委員会では、公会堂の廃止に伴い稼働率が上がっているブリックホールについては利用団体から不満の声が聞えてきているため、さらなる利便性の向上に努めてほしい、学校給食においては地元農産物の使用比率アップに向けた取り組みを行ってほしい、クルーズ船の乗客のニーズを的確に把握するとともに食の魅力や観光資源のアピールに努めるなど、受け入れ態勢のさらなる充実を図ってほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。

建設水道委員会

総務費において、民有地緑化助成金の申請件数を増やすための取り組みなどについて慎重に審査しました。

次に、土木費において、西彼杵道路及び長崎南北幹線道路建設の今後の見直し、中島川周辺の景観形成基準を見直し、建築物の高さ規制を解除したことに対する見解、長崎駅周辺連続立体交差事業に係る土壌汚染処理工事の今後の見直し、指定管理者に対する定期的な検査の実施状況などについて慎重に審査しました。

委員会では、市民の合意が得られない中で、多額の税金を投入することとなる九州新幹線西九州ルート建設に関しては認められないことなどの反対意見が出された一方、合併地区の道路改良工事については、合併特例債や過疎債、辺地債といった有利な財源を有効活用し、事業を進捗させてほしい、県が施行する事業に対して多くの負担金を支出しているため、県と連携・協調しながら市としても事業に積極的にかかわってほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

11月定例会の議決結果（予算・条例・契約など）

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第137号	平成28年度長崎市一般会計補正予算（第4号）	所管の各常任委員会	原案可決
第138号	平成28年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第1号）	環境経済	〃
第139号	平成28年度長崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	教育厚生	〃
第140号	平成28年度長崎市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	建設水道	〃
第141号	平成28年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	教育厚生	〃
第142号	平成28年度長崎市診療所事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
第143号	長崎市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員定数条例	環境経済	〃
第144号	長崎原爆遺跡旧城山国民学校校舍条例	教育厚生	〃
第145号	長崎市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例	総務	〃
第146号	長崎市職員退職手当条例の一部を改正する条例	〃	〃
第147号	長崎市文化センター条例の一部を改正する条例	教育厚生	〃
第148号	長崎市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃
第149号	長崎市ふれあいセンター条例及び長崎市公民館条例の一部を改正する条例	総務	〃
第150号	長崎市民水泳プール条例の一部を改正する条例	〃	〃
第151号	長崎市伊王島海水浴場交流施設条例の一部を改正する条例	環境経済	〃
第152号	長崎市伊王島灯台記念館条例の一部を改正する条例	〃	〃
第153号	長崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第154号	長崎市交通遺児教育手当条例を廃止する等の条例	教育厚生	否決
第155号	長崎市及び長与町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	総務	原案可決
第156号	長崎市及び時津町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	〃	〃
第157号	長崎県市町村総合事務組合の規約の変更に関する協議について	付託省略	〃
第158～178号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市小島地区ふれあいセンターほか20件）	所管の各常任委員会	〃
第179号	地方独立行政法人長崎市立病院機構定款の変更について	教育厚生	〃
第180号	工事の請負契約の締結について（旧長崎市公会堂解体工事－1）	環境経済	〃
第181号	工事の請負契約の締結について（市道虹が丘町西町1号線橋梁上部工設置工事）	建設水道	〃
第182号	工事の請負契約の締結について（本河内団地公営住宅新築主体工事）	〃	〃
第183号	長崎市の旧公会堂の解体中止と再使用に関する住民投票条例について	環境経済	否決
第184号	平成28年度長崎市一般会計補正予算（第5号）	所管の各常任委員会	修正可決
第185～188号	平成28年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第2号）ほか特別会計補正予算3件	所管の各常任委員会	原案可決
第189号	平成28年度長崎市水道事業会計補正予算（第1号）	建設水道	修正可決
第190号	平成28年度長崎市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
第191号	長崎市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例	総務	原案可決
第192号	一般職の職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	〃	〃
第193号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	〃	〃
第194号	長崎市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	建設水道	〃
第195号	平成28年度長崎市一般会計補正予算（第6号）	所管の各常任委員会	〃

全ての議決結果は、長崎市議会ホームページでごらんになれます。

総務委員会

平成28年度長崎市一般会計補正予算第4号(総務委員会所管部分)を可決

総務費において、行政サテライト機能再編成プロジェクトを進めるに当たり、「(仮称)総合事務所」の設置予定場所の施設改修や耐震診断を行うための庁舎等施設整備事業費が計上されました。

委員会においては、行政サテライト機能再編成に係る条例改正案が提案されていない段階で関連予算を提案することの妥当性、総合事務所設置予定場所の地域住民の理解が十分でない中で今回予算計上した理由、同プロジェクトを進めていくに当たり支所・行政センターの職員を交えた協議の有無、本予算を認めたとしても議会が行政サテライト機能再編成について認めたものではないとすることへの見解をただすなど慎重に審査しました。

その結果、行政サテライト機能再編成については、まだ市民に理解を得られていないと言えないことから、しっかりとしたプロセスを経た上で、議会や市民に分かりやすい予算の計上を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

教育厚生委員会

「長崎みなとメディカルセンター市民病院」が「長崎みなとメディカルセンター」へ名称変更

長崎みなとメディカルセンター市民病院の名称を変更することに伴い、地方独立行政法人長崎市立病院機構定款を変更する議案が提出されました。

委員会では、これまでの病院機構の取り組みと名称変更にかける思いについていただきました。理事者からは、新病院になって以降、中期目標に掲げた高度・急性期医療の充実などに取り組みでおり、救急患者の受け入れも着実に増加している。現在の名称になって約3年が経過し、一定、定着してきたと考えており、目指す医療をさらに進めるためにも、名称変更を契機に頑張っていくきたいとの説明がありました。

委員会では、市民に親しまれる病院という点から名称変更は必要ないなどの反対意見が出されました。

一方、名称が変わってもその精神には変わりなく、その名に恥じないよう、今後、さらに市民に寄り添う公立・中核病院として、より充実・発展して欲しいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

環境経済委員会

平成28年度長崎市一般会計補正予算第6号(環境経済委員会所管部分)を可決

総務費において、ふるさと納税制度により実施している「がんばらば長崎市応援寄附金」の受入額の増加が見込まれるため、謝礼品などに係る経費を増額するためのふるさと納税推進費が計上されました。

委員会においては、市民税控除額や人件費などを含めた場合の収支の見込みについてただすなど慎重に審査しました。

理事者からは、昨年と同様の市民税控除額となったと想定した場合、人件費や事務費などの諸経費を含めて約3800万円の黒字となる見込みであると、答弁がなされ、異議なく原案を可決しました。



▲謝礼品は300種類以上
(写真は「出島ばらいろ」)

建設水道委員会

平成28年度長崎市水道事業会計補正予算第1号及び長崎市下水道事業会計補正予算第1号を修正可決

水道事業会計補正予算において、新市庁舎建設事業に係る負担金などが計上されました。

委員会では、新市庁舎建設に伴い、公会堂前公園にかわる新たな都市公園の設置予定場所の考え方、災害時に水道水の供給が停止するリスクを避けるため、上下水道局を新市庁舎とは別の場所に配置する考えの有無などについてただすなど慎重に審査しました。

その結果、総務委員会の一般会計補正予算(第5号)の審査において、新市庁舎の実施設計に係る費用を減額する修正案が可決されたことから(詳細はP2)、建設水道委員会においても、新市庁舎建設事業費負担金に係る継続費のうち、実施設計に係る費用について減額する修正案が提出されました。

委員会では、公会堂前公園の代替地確保がなされていないにもかかわらず、負担金を支出することは時期尚早であるなどの反対意見が出された一方、行政サテライト機能の再編成に係る市民の意見を十分に反映させた上で事業に取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を修正可決しました。

次に、同様の負担金が計上された下水道事業会計補正予算において、委員から同様の意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を修正可決しました。

8月9日	○長崎商業高等学校が甲子園出場 試合途中に原爆死没者に対し黙とう
8月20日	○スコットランドラグビー協会との交流事業及びアバディーン市表敬のため、毎熊議長ほか7名がイギリスを訪問（～26日）
8月29日	⑥災害時の議会の役割について、同志社大学の新川達郎教授を講師に招き議員研修会を開催
9月1日	○9月定例会開会（～21日）
9月9日	⑦第123号議案「長崎市公会堂の解体中止と再使用に関する住民投票条例について」を審議し、記名投票による採決の結果、原案に賛成少数で否決
9月21日	○総額13億5,679万円の平成28年度長崎市一般会計補正予算（第3号）を可決 〔市長提出議案22件について審議決定〕 ○「長崎市議会BCP（業務継続計画）～災害時行動計画～」を策定し、本会議において議長が報告
10月15日	⑧第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック長崎2016）が開催（～18日）
10月26日	○平成27年度長崎市一般会計、各特別会計及び各公営企業会計に係る決算議案を審査 教育厚生委員会（10月26日・27日・28日） 環境経済委員会、建設水道委員会（10月26日・27日） 総務委員会（11月2日・4日）
11月25日	○11月定例会開会（～12月14日） ○平成27年度長崎市一般会計歳入歳出決算など15件の決算議案を認定 ⑨長崎市議会議長選挙により、第54代長崎市議会議長に野口達也議員を選出 ⑩長崎市議会副議長選挙により、第60代長崎市議会副議長に筒井正興議員を選出 ○長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出 野口達也議員、後藤昭彦議員、山口まさよし議員
11月30日	○第183号議案「長崎市の旧公会堂の解体中止と再使用に関する住民投票条例について」を審議し、記名投票による採決の結果、原案に賛成少数で否決
12月14日	○総額67億4万4千円の平成28年度長崎市一般会計補正予算（第4号）を可決 ○総額▲3,106万3千円の平成28年度長崎市一般会計補正予算（第5号）を修正可決 ○総額1億5,225万4千円の平成28年度長崎市一般会計補正予算（第6号）を可決 〔市長提出議案58件について審議決定〕



⑥ 災害時の議会の役割について研修



⑦ 記名投票による採決



⑧ 開会式で入場する長崎県選手団



⑨ 野口達也新議長の就任挨拶



⑩ 筒井正興新副議長の就任挨拶

平成28年の長崎市議会



① 開業時期の前倒しなどを要望



② 設立総会での井上重久会長挨拶



③ 国に対し、熊本地震に関する緊急要請を行うことを決定



④ 市長説明時には傍聴席が満席に



⑤ 全国からの災害見舞金を贈呈

- 2月19日**
- 2月定例会開会（～3月11日）
 - 地方創生対策特別委員会、世界遺産・観光客受入対策特別委員会、長崎駅周辺再整備特別委員会の調査終了に伴い、各特別委員長が調査結果を本会議に報告
 - 常任委員会、議会運営委員会の委員を選任
- 3月10日**
- ①長崎新幹線整備促進議員連盟の板坂博之会長（兼長崎県下市町議会新幹線推進連絡協議会会長）が、長崎県議会・関係市議会と合同で、与党九州新幹線（西九州ルート）検討委員会メンバーや政府関係者などに要望活動を実施
- 3月11日**
- 総額2,169億7千万円の平成28年度長崎市一般会計当初予算を138万円減額して修正可決
 - 〔市長提出議案75件、議員提出議案の条例1件、意見書1件について、それぞれ審議決定〕
 - 長崎駅周辺再整備特別委員会、観光客受入対策特別委員会、定住人口対策特別委員会を設置
 - ②核兵器廃絶長崎市議会議員連盟（会長 井上重久議員）が発足
- 4月20日**
- 熊本地震における被災者支援のため、九州市議会議長会、長崎県市議会議長会、長崎市議会互助会で物資を購入し、熊本市に直接搬送
- 4月26日**
- ③熊本市において開催が予定されていた第91回九州市議会議長会定期総会を、昨年引き続き長崎市で開催（～27日）
- 5月25日**
- 5月臨時会開会
 - ④第76号議案「長崎市庁舎の建設地に関する住民投票条例について」を審議し、継続審査とすることに決定
- 6月8日**
- 総務委員会を開催し、第76号議案「長崎市庁舎の建設地に関する住民投票条例について」を賛成少数で否決すべきものと決定
- 6月10日**
- 6月定例会開会（～29日）
 - 第76号議案「長崎市庁舎の建設地に関する住民投票条例について」を審議し、記名投票による採決の結果、原案に賛成少数で否決
 - 永年勤続表彰：吉原 孝議員（25年表彰）、板坂博之議員（20年表彰）、佐藤正洋議員（10年表彰）
- 6月16日**
- 議員提出議案の決議（「オバマ米国大統領の広島訪問を受け、被爆地から核兵器廃絶と世界恒久平和の実現への決意を表明する決議」）1件を可決
- 6月29日**
- 総額11億3,844万9千円の平成28年度長崎市一般会計補正予算（第2号）を1億5,023万9千円減額して修正可決
 - 〔市長提出議案22件、議員提出議案の意見書1件について、それぞれ審議決定〕
- 7月11日**
- ⑤毎熊政直議長が、全国市議会議長会会長、九州市議会議長会会長とともに熊本市議会を訪問し、全国の市議会などから寄せられた熊本県及び大分県への災害見舞金1億3,488万3,053円を贈呈
- 7月25日**
- 夜景サミット2016inベトナムに議員8名が参加（～29日）

議長・副議長選挙



西田みのぶ前副議長



毎熊政直前議長

▲前正副議長からの挨拶(新正副議長の挨拶の様子は、P10)

11月定例会 初日の11月25日、毎熊政直議長から議長の辞職願が提出され、本会議で辞職が許可されたことに伴い副議長選挙を行った結果、筒井正興議員が第60代長崎市議会副議長に選出されました。就任及び退任に当たり、新旧正副議長からの挨拶がありました。



▲議長選挙の様子

議会の動き

- ・常任委員の所属変更(11月25日)
筒井正興議員が総務委員会から教育厚生委員会に、後藤昭彦議員が教育厚生委員会から総務委員会に、それぞれ変更となりました。
- ・特別委員の補欠選任(11月25日)
西田みのぶ議員及び毎熊政直議員が、観光客受入対策特別委員会の委員として補欠選任されました。
- ・長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙(11月25日)
本市議会から野口達也議員、後藤昭彦議員、山口まさよし議員が、新たに長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員として選出されました。
- ・会派代表者の変更(11月25日)
市民クラブ(11名)の代表者に、五輪清隆議員が就任しました。

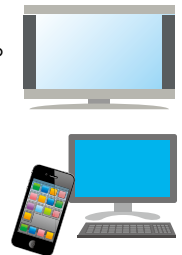
陳情

11月定例会で委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

- ▼長崎市議会議員政務活動費の領収書等の議会ホームページでの公開等を求める陳情(総務委員会)
- ▼養生所／医学校の遺構の保存・修復・整備・復元に関する陳情Ⅱ(教育厚生委員会)
- ▼長崎市・琴海町市町村建設計画等の推進に関する陳情(建設水道委員会)

ぜひ議会をごらんください!

- 本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。
傍聴の際は、本会議は議事堂入口で、委員会は議会事務局総務課で、受付票に氏名・住所をご記入ください。
 - 本会議の様子は、パソコン・スマートフォンにより動画でごらんになれます。
 - ・ケーブルテレビで生中継しています。(長崎ケーブルメディア11ch)
 - ・インターネットで生中継しています。(長崎市議会ホームページから)
 - ・過去の動画も長崎市議会ホームページ^{*1}やYouTube^{*2}でごらんになれます。
- ※1…パソコンでは過去5年間分、スマートフォンでは平成27年分からごらんになれます。
※2…平成25年9月分からごらんになれます。



2月定例会の予定

2月22日(水)	本会議(招集日)
2月27日(月)～28日(火) 3月 2日(木)～ 3日(金)	本会議(一般質問)(4日間)
3月 6日(月)～10日(金) 3月13日(月)～14日(火)	常任委員会(7日間)
3月16日(木)	本会議(委員長報告等)

※日程は変更となる場合があります。

長崎市議会事務局 Facebook

議会の動きを情報発信しています。平日は毎日更新中!



【QRコード】

